

野鳥・Tokyo

バードピアのすすめ

～自宅の庭やバルコニーを野鳥たちの楽園にしよう！～

公益財団法人 日本鳥類保護連盟 会長 矢島 稔

公益財団法人 日本鳥類保護連盟では、日本全国の皆さんに、「バードピア」への登録を呼びかけています。バードピアとは連盟がつくった言葉で、野鳥(バード)と楽園・理想郷(ユートピア)を組み合わせて、野鳥たちの楽園という意味です。

今日、野鳥を保護し、人と野鳥の共生を進めていくことは、環境保全の面だけでなく、人の心を豊かにするうえでもとても重要なことになっています。

人と野鳥の共生を実現するには、特に生息環境の保護が基本となりますが、今後も、さまざまな生産・社会活動に伴い緑地が失われていくと予測される日本では、ますますそのような場所の確保が困難になると考えられます。

そこで、このような現状を踏まえ、都市および周辺地域など、住居の庭や、公園緑地、会社・工場の敷地内にある植栽地や屋上緑地など、さまざまな緑の空間を利用して、日々の暮らしや生産活動を妨げない範囲で工夫、配慮しながら、できる限り野鳥などの身近な生きものが棲みよい空間をつくっていこうというものです。

1947(昭和22)年に発足した日本鳥類保護連盟は2015年で69年目、また、当連盟で発行している機関誌『私たちの自然』は、2015年の9・10月合併号で、600号を迎えました。その創刊号で、故山階芳麿会長は「人も自然の中の一員であり、他の生きものと持ちつ持たれつしながら生存している」と書いておられ、自然生態系や自然保護の象徴としての鳥類保護という観点を連盟の活動の基盤としていたと考えられます。

「バードピア」は、この山階先生の考え方を発展させ、野鳥をはじめとする生きものの目線で、その生息に適した環境づくりを進めようとするものです。

「緑の回廊」という言葉を聞いたことがある人も多いと思いますが、これは、全国の保護林を拠点にネットワークを形成し、人の生活圏によって分断されてしまった野生生物たちの生息地をつなぎ、野生生物の移動経路を確保することで、より広範かつ効果的な森林生態系の保全を図ることです。

「バードピア」は、このような「緑の回廊」のパーツとなるものであり、将来、その数を増やすことによって、都市域の野鳥など、身近な生きもののための「緑の回廊」の形成にも大いに貢献できるものと考えます。また、都会に住む人々が日常的に野鳥や昆虫などの生きものとのふれあいを楽しんだり、子どもたちの生きものを大切にすることを育むためにも、重要な意義を持つものと考えています。

皆さんの「バードピア」へのご登録をお待ちしております。



バードピアについてのお問い合わせ・申込み
公益財団法人 日本鳥類保護連盟
〒166-0012
東京都杉並区和田3-54-5第10田中ビル 3階

バードピア推進部 市田まで
E-Mail: birdpia@jspb.org
TEL: 03-5378-5691
FAX: 03-5378-5693
HP: <http://www.jspb.org/birdpia.html>